

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：

千葉県 千葉市立小中台南小学校

活動名：

『地域と創る外国語教育』
 ～「広げる」「深める」視点から～

解決すべき課題：

- ・新学習指導要領全面実施に伴い、小学校高学年から英語が教科化となり、これまで以上に小学校・中学校のそれぞれの役割と連続性を確認し、学習の充実を図る必要がある。
- ・全学年で外国語活動・外国語に取り組むようになって数年が経つが、定期異動で大幅な職員の入れ替わりがあり、活動や資料・教材の引継ぎが十分にできていない。
- ・これまでの取り組みの中には多忙な担任にとって負担になることから継続が難しいものもあり、活動を持続的なものに改良していく必要がある。

目標・方針： ～「広げる」「深める」視点から活動を見直し、改良しながら持続的なものに～

- ・「思いを伝え合う子どもの育成」を目指し、新学習指導要領に対応した充実した外国語教育を実施。
- ・「担任が気負わずに一人でもできる外国語の授業」の実現に向けた環境づくり。
- ・担任だけでなく、ALT や地域、外部機関の協力を得てできることの整理と連携強化。

活動内容： 小学校・近隣小中学校・地域ボランティアそれぞれの役割を明確にし、連携しながら活動する
 小学校

【児童への働きかけ】

- ① コミュニケーションマナー（合言葉）の確認（資料1）
- ② 短時間学習「ハロータイム」の実施（全学年）
- ③ 金曜日の English Day
- ④ ALT による朝学習・休み時間の特別レッスンの実施（資料2）

【教師への働きかけ】

- ① ワークシートや振り返りカードの保存先を全学年同じフォルダに整理
- ② イングリッシュルームを授業教室と共に資料室としても活用できるように整備
- ③ 理論・実技研修の実施（資料3）
- ④ 振り返りカードやレスンプラントシート（資料4）を活用した打合せの充実（資料5）

近隣小・中学校

- ① 「教師用クラスルームイングリッシュ」掲示物を近隣小学校に送り、中学校区で同じものを使用（資料6 市教育センターHPにおいても資料を公開）
- ② パフォーマンステストの共同作成及び評価規準の確認
- ③ 職場体験で、中学生に中学校の勉強についてプレゼンしてもらおう＆ノート展示（6年生対象）
- ④ 中学校の先生による出前授業（感染症予防の為、未実施）

地域ボランティア

- ① 学習ボランティアの要請をし、短時間学習の補助をしてもらう。（資料7）
- ② 神田外語大学の学生ボランティアによるイベントの開催。（資料8）

活動の成果：

・役割の整理と連携強化が、充実した外国語教育に繋がった。「外国語活動が好き」と答えた児童が3年連続

で9割を超え、「伝わって嬉しい」「わかって楽しい」授業を継続し続けることができた。
 ・どの学年のどのクラスの担任も、無理なく外国語教育に取り組むことができた。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- ・活動を学校内だけでなく、地域全体で目的「思いを伝え合う子どもの育成」を共有することができたところ。
- ・「誰もが一人でできる授業」を目指した体制や資料を作成することができたところ。
- ・やりっ放しにしたり、単純に負担の大きいものをカットしたりするのではなく、「広げる」「深める」視点で活動内容を見直すことができたところ。

資料1 合言葉「クリアイス」「クリライイス」

クリアイス 低・中学年 「クリ」クリアボイス 「アイ」アイコンタクト 「ス」スマイル	クリライイス 高学年 「リ」リピート 「リ」リアクション
---	------------------------------------

資料2  

資料3   

資料4 

資料5 

深める
 これまでの活動を
 継続・改良する

広げる
 新しい活動に
 取り組む

小学校
 みなみっ子
 地域


近隣小・中学校


ボランティア


小中連携・小中連携

Classroom English～活動中の指示カード～ レベル1

Please stand up.	Let's sing together.
Please sit down.	Please listen carefully.
Make two lines.	Any volunteers?
pairs.	Take out your worksheet.
groups of four.	Put your things away.
a circle.	Open your textbook to page~
Go back to your seat.	Look at this picture.
Look at the board.	Color OO green.
Let's play OO game.	

資料6 

資料7 

資料8 

○地域人材の活用
 カナダ出身の保護者に、ボランティアで短時間学習ハロータイムのサポートをしていただいた。発音練習では、中学校英語で本格的に始まるフォニックス（音素）にも触れた。

○ABC サーキット（神田外語大学ボランティア）
 全校対象で、発達段階に応じた内容で実施した。体育館に設置された各ブースをグループで回り、英語の基本的な音声や表現に慣れ親しんだ。